

# 大阪狭山市議会

## 議会報告会 市民との意見交換会

日程 令和6年11月9日(土)

時間 午後2時から午後4時まで

会場 市立コミュニティセンター 大会議室



■ 議会報告会・市民との意見交換会 レジюме ■

	時間割など
▽ 開会のあいさつ ▽ 出席議員の紹介	午後2時00分
▼ 第1部 議会の報告 ○ 報告 (主に一般会計について)	午後2時05分頃
(休憩)	午後2時20分頃
▼ 第2部 意見交換会 ○ テーマ 「大阪狭山市のめざす姿」	午後2時25分頃
▽ 閉会のあいさつ ▽ 閉会	午後3時55分頃 午後4時00分頃

■ 目 次 ■

<b>【第1部 議会の報告】</b>	1
○ 9月定例会議会に提出された議案の概要	2
○ 9月定例会議会に提出された議案の議決結果	5
○ 令和5年度(2023年度)会計別歳入歳出決算総括表	6
○ 令和5年度(2023年度)一般会計決算の概要	7
○ 予算決算常任委員会の討論	8
○ 令和5年度(2023年度)主要事業	12
<b>【第2部 市民との意見交換会】</b>	16
○ テーマ「大阪狭山市のめざす姿」	

## お 願 い

- 本日の議会報告会及び意見交換会における概要につきましては、結果報告書として取りまとめたうえで公開いたします。なお、結果報告書を作成するため、写真撮影、録音を行い、一部報告書に活用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 意見交換会は、市民の皆さまからの意見を聴くことに重きをおくため、出席議員からは簡潔な回答や意見にとどめます。また、その回答などは議会として統一されたものばかりでなく、一部個々の議員の主観が入ることもご理解ください。
- 市民の皆さまからいただいた意見や提言について、本日、この場で解決できるとは限りません。
- 意見交換会でいただいた意見等については、可能な限り回答に努めます。なお、適切な回答ができない場合については、議会全体で共有するために意見を持ち帰ったうえで、議論し、対応を検討します。また、行政等にも必要に応じて伝えます。
- 議会で検討・回答できない意見や要望については、行政等へ伝えます。
- 市民の皆さまからいただいた意見や要望への対応結果は、議会ホームページ等で報告します。時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 第 1 部

## 議 会 の 報 告

## ■ 9月定例月議会に提出された議案の概要及び議決結果

議案第45号	教育委員会の委員の任命について	
教育委員会の委員 田川 宜子（たがわなりこ）氏の任期が令和6年9月30日をもって満了することに伴い、新たに 内田 幸子（うちださちこ）氏を教育委員会の委員に任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めもの		同意 (全員)

議案第46号から議案第56号までは、令和5年度（2023年度）の各会計の決算を議会の認定に付すもの		
議案第46号	大阪狭山市一般会計歳入歳出決算認定	認定 (多数)
議案第47号	大阪狭山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定	認定 (多数)
議案第48号	大阪狭山市介護保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定	認定 (多数)
議案第49号	大阪狭山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定 (多数)
議案第50号	大阪狭山市池尻財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第51号	大阪狭山市半田財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第52号	大阪狭山市東野財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第53号	大阪狭山市今熊財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第54号	大阪狭山市岩室財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第55号	大阪狭山市茱萸木財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定 (全員)
議案第56号	大阪狭山市下水道事業会計決算認定	認定 (全員)

議案第57号	大阪狭山市市税条例の一部を改正する条例について	
地方税法等の一部を改正する法律の施行による新たな公益信託制度の創設に伴い、公益信託の信託財産とするために支出された当該公益信託に係る信託事務に関連する寄附金を寄附金税額控除の対象とする等所要の改正を行うもの		可決 (全員)

議案第58号	大阪狭山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	
「一部負担金の徴収猶予及び減免並びに保険医療機関等の一部負担金の取扱いについて」の一部改正に伴い、急患等として医療機関を受診した国民健康保険の被保険者に対して、必要に応じて徴収猶予を活用するため、また、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されるため、所要の改正をするもの		可決 (全員)

議案第59号	大阪狭山市下水道条例の一部を改正する条例について	
持続的な下水道事業サービスを続けていくため、使用料収入による安定した財源の確保が必要であることから、使用料の改定等、所要の改正をするもの		可決 (全員)

議案第60号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	
地方自治法第291条の3第1項の規定により、大阪府後期高齢者医療広域連合規約内における、被保険者証等の文言を資格確認書等に改めることについて、関係市町村と協議するため、同法第291条の1の規定により、議会の議決を求めるもの		可決 (全員)

議案第61号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	
地方自治法第286条第1項の規定により、大阪広域水道企業団が共同処理する事務に岸和田市、八尾市、富田林市、柏原市及び高石市に係る水道事業の経営に関する事務を追加すること並びにこれに伴う大阪広域水道企業団規約を変更するため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるもの		可決 (全員)

議案第62号	指定管理者の指定について	
大阪狭山市立公民館及び大阪狭山市立社会教育センターの指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの		可決 (全員)

議案第63号	指定管理者の指定について	
大阪狭山市立図書館の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの		可決 (全員)

議案第64号	令和6年度(2024年度)大阪狭山市一般会計補正予算(第4号)について	
大阪・関西万博における大阪ウィーク自治体参加催事の準備にかかる経費や、文化会館や旧くみの木幼稚園の施設改修、市役所本庁舎駐車場等の整備にかかる工事費のほか、住民情報システムの標準化に向けた経費などを予算計上するもので、歳入歳出それぞれ2億1,073万8千円の増額補正をするもの		可決 (多数)

議案第65号	令和6年度(2024年度)大阪狭山市介護保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について	
過年度分の介護給付費負担金や地域支援事業交付金等の清算に伴う国・府等への超過交付金返還金、介護給付費準備基金積立金を補正計上し、財源としては、決算剰余金等を計上するもので、歳入歳出それぞれ1億9,351万1千円の増額補正をするもの		可決 (全員)

議案第66号	令和6年度(2024年度)大阪狭山市池尻財産区特別会計補正予算(第2号)について	
大阪狭山市財産区地域公共事業等交付金交付要綱に基づき、地域公共事業を執行するため歳入歳出それぞれ1,060万円の増額補正をするもの		可決 (全員)

議案第67号	令和6年度(2024年度)大阪狭山市東野財産区特別会計補正予算(第1号)について	
大阪狭山市財産区地域公共事業等交付金交付要綱に基づき、地域公共事業を執行するため歳入歳出それぞれ1,440万円の増額補正をするもの		可決 (全員)

令和6年（2024年）招集大阪狭山市議会定例会9月定例会月議会 議決結果一覧

議案名	会派名 議員名	ええ まち 狭山	大阪 維新の会				共創 みらい			公明党			政風 クラブ	日 本 共 産 党 議 員 団	議決結果	
		小芝英俊	中井勝也	中野学	西野滋胤	池永裕樹	鳥山健	花田全史	松井康祐	北好雄	久山佳世子	山本あさみ	山本尚生	北村栄司		深江容子
案件	人事 教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	同意
条例	市税条例の一部改正／国民健康保険条例の一部改正／下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議／大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議／指定管理者の指定（2件）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決算 認定	令和5年度 一般会計／国民健康保険特別会計／介護保険特別会計／後期高齢者医療特別会計	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	認定
	（池尻・半田・東野・今熊・岩室・茱萸木）財産区特別会計／下水道事業会計	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
補正 予算	令和6年度 一般会計（第4号）	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	介護保険特別会計（第1号）／池尻財産区特別会計（第1号）／東野財産区特別会計（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書／自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書／ガザ地区における即時停戦に向けた積極的な外交努力を求める意見書	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決

■会派名及び議員名は50音順。

■表の見方 『○』は賛成又は採択、『×』は反対又は不採択、『★』は議長につき採決には参加していないことを示しています。

■令和5年度（2023年度）歳入歳出決算

令和5年度（2023年度）会計別歳入歳出決算総括表

（単位：円）

議案番号	会計名	歳入	歳出	差引額	翌年度繰越財源	実質収支額
第46号	一般会計	23,972,226,399	23,449,854,365	522,372,034	66,295,244	456,076,790
第47号	国民健康保険特別会計	6,185,067,413	6,108,159,051	76,908,362	11,113,990	65,794,372
第48号	介護保険特別会計	5,824,320,266	5,631,563,382	192,756,884	0	192,756,884
第49号	後期高齢者医療特別会計	1,216,227,424	1,167,838,691	48,388,733	0	48,388,733
第50号	池尻財産区特別会計	1,253,990,441	1,253,990,441	0	0	0
第51号	半田財産区特別会計	164	164	0	0	0
第52号	東野財産区特別会計	7,503,573	7,503,573	0	0	0
第53号	今熊財産区特別会計	2,632,366	2,632,366	0	0	0
第54号	岩室財産区特別会計	1,920,712	1,920,712	0	0	0
第55号	茱萸木財産区特別会計	8,500	8,500	0	0	0
	合計	38,463,897,258	37,623,471,245	840,426,013	77,409,234	763,016,779
議案番号	会計名	収益的收入	収益の支出	資本的收入	資本の支出	当年度純利益
第56号	下水道事業会計	1,647,784,478	1,630,720,186	620,671,151	1,021,647,491	11,313,302

## ■ 令和5年度一般会計決算の概要

一般会計（歳入）	歳入の総額：239億7,223万円
<p>依存財源である国庫支出金は、54億6,650万円と昨年度に比べ減少する一方で、所得の増加や住宅開発の進展に伴い、主要な自主財源の市税（市民税や固定資産税など）の増加や財産区財産の売却にかかる繰入金が多額であるなどにより、歳入総額では前年度より5億1,180万円増加した。</p>	

一般会計（歳出）	歳出の総額：234億4,985万円
<p>ワクチン接種事業（衛生費）や地域ポイント発行・促進事業（商工費）が減少した。一方で、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業（民生費）や文化会館ESCO事業（総務費）の実施により、歳出総額では前年度より7億5,705万円増加した。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務費 29億1,494万円（2億2,244万円増）</li> <li>・民生費 112億9,468万円（6億1,138万円増）</li> <li>・衛生費 18億7,735万円（4,004万円減）</li> <li>・農林水産業費 1億7,973万円（6,636万円増）</li> <li>・商工費 1億9,597万円（2億5,826万円減）</li> <li>・土木費 14億1,227万円（4,109万円減）</li> <li>・消防費 8億7,846万円（2,423万円増）</li> <li>・教育費 26億2,793万円（1億9,087万円増）</li> <li>・公債費 18億8,448万円（2,024万円減）</li> </ul>	

## ■ 予算決算常任委員会の討論（議会だより掲載記事より抜粋）

### 令和5年度（2023年度）一般会計歳入歳出決算認定

#### 審査の結果▶認定

不認定とする討論	
	<p>市として様々な事業を行っており評価できる部分はあるが、生活保護受給者が増えている現状からみても、国の政策の中で国民が苦しんでいる現実がある。</p> <p>高すぎる国民健康保険料や介護保険料、後期高齢者医療保険料や自己負担を増やす制度の改悪など、これらの責任の根本は国にある。</p> <p>国民・市民を苦しめ、地方自治体の財政状況にも大きな影響を与えている国の政治のあり方に対する怒りの声の表明として、不認定。</p>
	<p>賃金の上昇が追い付かないほどの長引く物価高騰のなか、市民の暮らしはぎりぎりまで追い詰められている。また、地方自治体も、老朽化した施設などを抱え、大変厳しい状況の中で運営している。</p> <p>大企業優先、軍事費の拡大などに巨額の税金を投入するのではなく、地方自治体に対する支援を拡大すべきである。また、大阪府がカジノや万博に巨額の公金を投入している現状も納得しがたい。</p> <p>国や大阪府に対し、本市自治体への支援の拡大を強く求め、不認定。</p>

認定とする討論	
	<p>令和5年度一般会計決算においては、財政調整基金を取り崩すことなく、実質収支も約4億6千万円の黒字となっており、歳出では年々増加する社会保障経費など義務的経費に加え、コロナ物価高騰対策など、市民ニーズに対応する様々な事業を適切に展開されている。</p> <p>今後、公共施設の老朽化に伴う更新等の対応など、本市の財政状況は厳しい状況が続くものと考えらる。</p> <p>今年度で終了する行革プランを着実に進め、令和7年度以降は、新たな指針や取組のもと、限られた財源や人材を有効に活用し、引き続き、持続可能な行財政運営に努めることを要望し、賛成。</p>

## 令和5年度（2023年度）国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

### 審査の結果▶認定

不認定とする討論	
	<p>国民健康保険料は非常に高いものとなっている。国民健康保険の加入者は、所得の少ない人も多く、高齢者や増え続ける非正規雇用労働者にとっても、国民健康保険料の引下げは切実な要望である。</p> <p>国民健康保険料が上がり続けている最大の要因は、国庫負担が削減されてきたことにある。国庫負担の増額を国に要請するとともに、市に対しても減免措置などに努力するよう求め、不認定。</p>
	<p>国民健康保険料は、収入に比べて大変高く、支払い能力の限界を超えている。また、今後もさらなる負担増が懸念される。今求められているのは、国民健康保険料の据置き・引下げであり、国による財政支援等を求めて、不認定。</p>

認定とする討論	
	<p>令和5年度決算は、公平な負担のもと、保険料の確保、適正な保険給付、生活習慣病の早期予防を重視した保健事業費用など、事業の運営上必要不可欠で適切な執行であると考えられる。また、保険料の負担増に対する激変緩和策の実施など、一定配慮されているものである。</p> <p>誰もが安心し、公平で持続可能な保険制度となるよう国や大阪府に働きかけ、健全な財政運営を行うことを要望し、認定。</p>

## 令和5年度（2023年度）介護保険特別会計歳入歳出決算認定

### 審査の結果▶認定

不認定とする討論	
	<p>介護保険制度は個人負担を軽減し、介護を社会的に責任を持って行うことを目的に、高齢者を支える仕組みとして2000年にスタートした。しかし、制度開始時から保険料は2倍になり、利用者にとって度重なる改悪が行われ、制度が後退している。</p> <p>下げられた国庫負担の割合を50%に戻すべきであり、そうしなければ今後も制度の後退が続いていくものと考えられる。国への財政支援と制度の改善を働きかけることを要望し、国への抗議の意思表示として、不認定。</p>
	<p>介護保険制度は、非常に大事な制度であるが、当初の目的から徐々に外れ、制度内容の変更のたびに改悪が行われている。</p> <p>本市は介護給付費準備基金を全額投入しているが、それでも保険料の引上げを抑えることができず、介護保険制度自体が破綻寸前であると考えられる。</p>

今後も利用者のさらなる負担増が考えられ、まさに保険あって介護なしと言える。誰もが安心して介護サービスを受けられる介護保険制度を維持するために、国の負担割合の拡大を求め、不認定。

#### 認定とする討論

団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年には超高齢化社会を迎える。介護保険費用の増加が今後も見込まれる中、持続可能な制度とすることが大きな課題である。

令和5年度決算では、介護予防の積極的な取組や認知症総合支援事業の実施、認知症サポーターの養成など、適正な執行であったと考える。

今後も、高齢者の方が健康寿命の維持に対する支援や、安心して介護サービスを受けることができるよう、地域包括支援システムの推進を図りつつ、安定した制度の運営に取り組むことを要望し、認定。

## 令和5年度（2023年度）後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

### 審査の結果➤認定

#### 不認定とする討論

後期高齢者医療の保険料が高い原因は、国庫負担を削減したことにある。一昨年10月には、一定所得のある人は医療費の窓口負担が2割となった。現役並みの所得のある人は3割負担であるが、この3割負担の対象を拡大しようとしている。高齢者への冷たい国の政治が反映されており、国に対して怒りの抗議を示すものとして、不認定。

窓口負担のさらなる増加など、高齢者にとって本当に厳しいものになっている。高齢者の負担をこれ以上増やすのではなく、国へ国庫負担の増額を要求し、不認定。

#### 認定とする討論

後期高齢者医療制度は広く認知されているように、必要不可欠な制度であり、適切に執行されていると考える。今後、被保険者にとって安心・信頼のできる制度として持続するよう、また、被保険者の負担が過度とならないように、国への財政支援の強い働きかけを要望し、賛成。

## ■令和5年度主要事業

※金額は決算額を記載

水とみどりのネットワーク事業	決算額 1億1,196万円
<p>市のシンボルである狭山池を中心に、豊かな水とみどりを一体的な空間として利活用し、まち全体の価値や魅力向上とにぎわい空間を創出することを目的に、「大阪狭山市水とみどりのネットワーク構想」を策定し、これまで狭山池周辺エリアを中心に様々な取組を推進してきた。</p> <p>副池オアシス公園では、ちびっこ広場を拡張し、ボール・ハーフボールセット、クッション遊具ムーンを設置、さらに「あそびの丘」にベッドジャンパーを設置し、さらなるにぎわいづくりのための整備を行った。</p> <p>また、狭山池周辺エリアを訪れる人たちの利便性向上のため、狭山池北堤や副池オアシス公園に駐輪スペースの整備を行った。</p> <p>西除川周辺エリアでは、狭山池周辺エリアの取組と連携しながら、魅力的な水とみどりのネットワークを形成するために、河川沿いの遊歩道や緑道などを再編し、快適かつ安全に移動することができるウォーカブルな歩行者空間の形成に取り組み、「狭山池橋下アンダーパス」や「西除川緑道」の整備に続いて、河川沿いの道路に歩道空間を整備した。</p>	

さやりんポイント付与事業	決算額 796万円
<p>インスタグラムフォトコンテストや禁煙推進ポスターコンクールの入賞者、介護予防啓発講演会への参加者、ぽっぽえんでのボランティア参加者などに、市内の加盟店で1ポイント=1円として使用できるさやりんポイントを付与した。</p>	

大阪狭山市地域ポイント促進事業	決算額 1億2,498万円
<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を踏まえ、市民や市内事業者への支援および地域経済の活性化を目的に、さやりんポイントをチャージした場合に、30%分のさやりんポイントを追加で付与した。</p> <p>また、さやりんポイントの利用期間にあわせて、市役所、ニュータウン連絡所にサポート窓口を設置し、スマートフォンアプリ「Chicca」のインストールなどを支援した。</p> <p>スマートフォンを持っていない人もキャンペーンに参加できるように、希望者にチャージ機能付き磁気カードを配布した。ポイントの利用率は99.2%と高いものとなった。業種別使用状況は、スーパー、ドラッグストアで約70%を占め、ポイントの大半が生活必需品に使用されている。</p>	

<b>学校園一貫ICTサービス展開事業</b>	<b>決算額 7,047万円</b>
<p>市内の公立学校園（幼稚園・こども園・放課後児童会・小学校・中学校）で一貫したICTシステムを導入し、保護者の利便性向上および学校園の事務を効率化した。</p> <p>●保護者との連絡機能と一斉配信機能 緊急情報の一斉配信や個別の出欠連絡などが可能となる。また、学校園からプリントなどの通知物の配信が可能となり、ペーパーレス化や学校園・保護者双方の通知を効率化した。今後は、児童・生徒を見守る地域住民へアカウントを発行し、学校からの連絡をスムーズに行えるよう連携していく。</p> <p>●登校園・出退勤管理機能 児童・園児の入退室時間の管理機能による保護者への通知により、安全・安心の確保と幼稚園・こども園・放課後児童会の延長利用記録などのデジタル化を図るとともに、職員の出退勤管理事務を効率化した。今後は、幼稚園・こども園・放課後児童会における諸経費などをキャッシュレスで納付できるよう、環境整備を進めていく。</p>	

<b>こども家庭センター設置事業</b>	<b>決算額 0円</b>
<p>核家族化で子育てに困難を抱える家庭が増えており、児童虐待を予防する観点などから、妊娠期から切れ目なく寄り添う支援が必要となっている。</p> <p>これまで、母子保健部門の保健師などが、子どもの健やかな育ちを応援し、児童福祉部門の社会福祉士などは、福祉的な視点で子育て支援を行ってきた。</p> <p>今後、両部門が一体的に支援を行うため、令和6年4月に「こども家庭センター」を開設し、社会福祉士、精神保健福祉士などの相談員を増員するなど、体制を整えた。これにより、切れ目のない支援がより一層可能となり、異なる職種の職員がそれぞれの専門性を生かすことで、子育ての困りごとを多角的に捉え、必要な支援のコーディネートができるようになった。今後は、新たなサービスの充実にも取り組み、支援の選択肢を増やすことで、一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供していく。</p>	

<b>生殖補助医療費等助成事業</b>	<b>決算額 334万円</b>
<p>不妊治療にかかる費用負担の軽減を図るため、保険適用された後の生殖補助医療費の自己負担額の一部をはじめ、生殖補助医療と併せて実施される先進医療にかかる費用の一部を助成し、不妊に悩む人を支援した。</p>	

<b>第4期男女共同参画推進プラン策定事業</b>	<b>決算額 276万円</b>
<p>ジェンダー平等を推進し、多様な働き方を広げ、だれもがいきいきと安心して暮らせるまち、互いに人権を尊重し責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現をめざし、令和6年度から10年間の第4期男女共同参画推進プランを策定した。</p>	

<b>高齢者補聴器購入費用助成事業</b>	<b>決算額 8万円</b>
<p>加齢性難聴による閉じこもりを予防し、高齢者の積極的な社会参加および地域交流を促進するため、65歳以上の個人市・府民税非課税世帯で、医師から補聴器が必要と認められた人が、管理医療機器として認定された補聴器を購入する費用の一部を助成した。</p>	
<b>小学校整備事業</b>	<b>決算額 1億4,189万円</b>
<p>学級編制基準の一律引き下げによる段階的な35人学級への移行や校区内の宅地開発による人口増加に伴う、北小学校の普通教室不足に対応するため、校舎の増築工事（1階建て3教室）や備品の購入を行った。</p>	
<b>都市緑化を活用した猛暑対策事業</b>	<b>決算額 1,367万円</b>
<p>「大阪府都市緑化を活用した猛暑対策事業」の補助金を活用し、市循環バス停留所「福祉センター前」上屋に、微細ミスト発生装置を新設し、利用者の熱中症対策を行った。</p>	
<b>地域学校協働活動事業</b>	<b>決算額 277万円</b>
<p>市内の5つの小学校に地域学校協働活動推進員を配置し、米づくり体験や防災キャンプなどの地域学習のコーディネート、登下校の見守り活動、学校の環境整備などの学校支援活動の活性化に取り組んだ。令和6年度は市内の全小学校に地域学校協働活動推進員を配置する。</p>	
<b>公共施設等総合管理計画推進事業</b>	<b>決算額 566万円</b>
<p>利用者のニーズに適切に対応し、効率的・効果的な公共サービスの提供の実現に向け、令和14年度までの公共施設の更新、複合化や集約などの対策内容や実施時期などを第1期計画として具体的に示すため、大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会を立ち上げ、議論を行った。また、その基礎資料として今熊地区で地質・地盤調査を行った。</p>	
<b>施設予約システム更新事業</b>	<b>決算額 1,104万円</b>
<p>検索機能の強化など利用者の利便性を向上させるため、市立公民館、市立コミュニティセンター、社会教育センター、SAYAKAホールの施設予約システムを更新した。</p>	
<b>特定小型原動機付自転車（電動キックボードなど）のナンバープレート作成事業</b>	<b>決算額 30万円</b>
<p>道路交通法の改正に伴い、一定の要件を満たす電動キックボードなどに対応する車両区分として「特定小型原動機付自転車」が新設されたことから、令和5年7月1日から標識（ナンバープレート）の交付を開始した。</p>	

<b>D X推進計画策定事業</b>	<b>決算額 120万円</b>
<p>D X（デジタルトランスフォーメーション）推進に対する基本的な考え方や個別の取組などを示した大阪狭山市D X推進方針を令和6年3月に策定した。この方針に基づき、引き続き国と歩調を合わせてデジタル化の取組を推進し、一層の事務効率化とさらなる市民サービスの向上につなげていく。</p>	

<b>行財政改革推進事業</b>	<b>決算額 0円</b>
<p>大阪狭山市行財政改革推進プラン2020に基づき、行財政改革にかかる取組を推進した。また、大阪狭山市行政評価委員会を開催し、進捗状況に対する評価や意見をいただいた。</p>	

# 第 2 部

## 意見交換会

市民との意見交換会      テーマ：「大阪狭山市のめざす姿」

MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

